



櫻園通信 72 令和4年3月  
東京都健康長寿医療センター  
養育院・渋沢記念コーナー  
連絡先: 老年学情報センター

作: 栄畑南美(えばた なみ)  
老年学情報センター

桜の名所・飛鳥山は、渋沢栄一の邸宅があったことでも有名です。渋沢は、東京都健康長寿医療センターの前身である養育院の院長を長く務めました。養育院には巣鴨分院という孤児教育施設もありました。渋沢は養育院巣鴨分院の子どもたちのためにも心を砕き、交流を大事にしていたといいます。今回は、巣鴨分院の子どもたちを招待し、飛鳥山の渋沢邸で開催された園遊会について紹介します。

養育院巣鴨分院は、1909年(明治42年)に養育院から独立した孤児教育施設でした。養育院本院では入所人数の増加と、養育院にいる大人から子どもたちへの悪影響が懸念されていたため、巣鴨に子どもたちだけの施設が作られたのです。巣鴨分院は、1942年(昭和17年)に練馬区の現在の土地に移転し、名称も東京都石神井学園に変更され、児童養護施設として今に至っています。



1909年 巣鴨分院開院式での記念写真

養育院の院長であった渋沢は、巣鴨分院にもほぼ毎月通っていました。1922年(大正11年)5月の東京市養育院月報・第255号には、第13回看護学講習生卒業式における渋沢の訓話が載っています。その文からは、渋沢が巣鴨分院の子どもたちに話をするのを大事にしていた様子が読み取れます。

毎月十三日は本院の記念日でありますから、余程差迫つた用事のない限り、私は本院及び巣鴨分院に参りまして、或は常設委員会に列し或は事務の打合せを為し、又特に巣鴨分院児童に対しては何か話をする事に極めてみます。

(東京市養育院月報、第255号 p.112)

1924年(大正13年)の東京市養育院月報には、渋沢が同年4月18日、飛鳥山の自宅に巣鴨分院の子どもたちを招き「収容児童慰安会」という園遊会を催した記録が残っていました。渋沢邸を訪れた7歳から15歳までの子どもたちの人数は、なんと344名、引率の職員は30名だったそうです。

その園遊会の様子を、養育院月報から旧字を修正し句読点を補って引用します。

収容児童慰安会 四月十八日渋沢院長は当分院収容児童慰安のため飛鳥山の同邸において園遊会を開催せられたり（中略）午前十時同邸に到り特に設けられたる余興場前の芝生に集合せり。（中略）

庭を隈なく周遊すれば院長もまた草花等を指しつつ、高齢の体をも忘れられけん如く、いと楽しく児童とともに散策を試みられたり。しばらくして庭内の一巡を終われば早や既にこちらの木陰あちらの亭に、或いは団子、或いは甘酒、或いは

桜餅等の準備あり。院長自ら「さあさあ、こちらへ」と幼き数百の客を懇ろに饗応せられければ、児童は心ゆく限り自由なる春の園を飛び回り嬉戯する。（東京市養育院月報、第 273 号 p.22）

渋沢は、この時 84 歳と高齢でしたが、子どもたちと一緒に春の庭に出て、楽しく散策したようです。散策後にはお団子や甘酒、桜餅の模擬店が準備されていたとのことで、きっと子どもたちは大喜びだったことでしょう。その様子を見て、「院長においては非常なる満足の顔なりき」とも書かれています。



また院外に出づることの少なき児童等は遠くに筑波、近きは荒川、王子の各方面を展望して快哉を叫び或いは眼下を走る汽車に歓呼の声を放ち、いと賑やかに「すし」の昼食を終え再び余興場に集まりぬ。この時更に煎餅、ピース及びキャラメル等の菓子を分配せられれば、之を口にしつつ奇術師の巧みなる手芸、滑稽なる身振りに児童等の喜び例えんものなく、或いは拍手し或いは抱腹し時の移るを知らざりき。（同上）

渋沢邸からは筑波山や荒川、王子がよく見渡せ、子どもたちは眺望や汽車が走る様子を楽しみながら昼食におすしを食べました。その後、余興場でお菓子を食べながら手品等を楽しみました。配布されたピースとキャラメルは森永製菓より寄付されたものだったと、渋沢の秘書役・増田明六の日記に記載があります。楽しい春の 1 日を渋沢邸で過ごし、4 時半頃子どもたちは巣鴨分院への帰路に就いたそうです。

渋沢は、亡くなるまで約 50 年間養育院の院長を勤めました。子どもたちを喜ばせ、自分自身も楽しみながら児童福祉分野に関わっていた渋沢の姿が、今回の資料から見て取れるのではないのでしょうか。

#### 【参考文献】

東京市養育院編（1922）『東京市養育院月報』第 255 号。

（1924）『—————』第 273 号。

「デジタル版渋沢栄一伝記資料」第 30 巻、p.235、公益財団法人渋沢栄一記念財団ホームページ、[https://eiichi.shibusawa.or.jp/denkishiryō/digital/main/index.php?DK300021k\\_text](https://eiichi.shibusawa.or.jp/denkishiryō/digital/main/index.php?DK300021k_text)、2022 年 2 月 3 日最終閲覧。

